

レールライフ実践人 vol.1



レールライフ実践人では、公共交通を活用して「かしこいクルマの使い方」を実践している人々をご紹介します。

第一回目は 黒瀬 裕治 さんです。

富山市役所職員である黒瀬さんは、

八尾からの通勤に公共交通を活用されています。

黒瀬さんの通勤スタイルなどを伺いました。



<黒瀬さんのレールライフスタイル>

黒瀬さんは路線バスによる通勤(片道約 50 分)をされています。

休日の買物・遠出にはクルマを利用されているそうです。

<公共交通利用のきっかけ>

4 月から富山市役所本庁舎に通勤するようになり、
当初は自家用車で通勤していました。

近隣駐車場を借りる費用がかかることと、
朝の通勤ラッシュによる渋滞が苦痛で、
思い切ってバス通勤に転換したんです。
初めてのバス通勤となりました。



<バス通勤にしてからの変化>

家を出る時間が、15分位遅くなりました。

というのも、それまではストレスの強い渋滞を避けるため、

かなり早めに出勤していたんです。

もちろん渋滞運転のストレスも無くなりました。

バス停までの往復で約1.2km位歩くようにもなりました。

健康の為には、もう少し距離が長くてもいいのですが笑

毎朝同じ時間、同じバスに乗ることで、知り合いも増えました。

いつも一緒に乗る人がいないとどうしたのかと、気になる程です。

バスの中で寝過ごしそうな時に起こしてもらうこともありました。

夜にお酒を飲んで帰れるようになったのもうれしい点です。

最終の時刻に間に合うよう、深酒をすることもなくなり、

健全な飲み方になったと思います。

ちょっと位飲みすぎても起こしてもらえますしね(笑)

<バス通勤をして新たに気付かれたこと>

バスに乗るようになって初めて、気付いたことがあります。

雨の日、女性の多くが長靴を履いていたんです。

何故かと思っていると、

バスから降りるときに水たまりがあることに気付きました。

住んでいる八尾は坂のまちだから雨は流れるので、水溜まりはほとんどなかった。

平坦な市街地では、歩道の境目等に水が溜まりやすいようです。

休日のバスの本数が少ないということも初めて知りました。

あとエコマイカが中々便利です。

エコマイカでバス料金を支払うと割引になるのもありがたいですね。

1万円札でチャージできる場所がもう少し増えれば、

もっと使いやすくなると思います。



<まとめ>

バス通勤のレールライフ実践によって、黒瀬さんは、

- ・渋滞ストレスからの解放
- ・地域コミュニティとの接点
- ・仕事帰りのお酒

という楽しみを手に入れられました。

みなさんもレールライフを楽しんでみませんか？
